

令和3年度第2回 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和3年7月29日(木) 午前10時00分～11時35分

2 開催場所 浜松市役所 51会議室

3 出席状況

エリア連絡会名	所属	出席者氏名	
中エリア連絡会	中障がい者相談支援センター	藤川 晴海	
	中区社会福祉課	飯塚 康敬	
東エリア連絡会	東障がい者相談支援センター	平野 明臣	
	東区社会福祉課	久野 加津夫	
西・南エリア連絡会	西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一朗	
	西区社会福祉課	宮本 明浩	
	南区社会福祉課	内藤 淳	
北エリア連絡会	北障がい者相談支援センター	本宮 早奈映	
	北区社会福祉課	梶田 和彦	
浜北・天竜エリア連絡会	浜北・天竜障がい者相談支援センター	今田 将晴	
	浜北区社会福祉課	島田 佐栄実	
	天竜区社会福祉課	内山 敦子	
	相談支援事業所シグナル	尾関 ゆかり	
		阿部 祥美	
事務局	障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛	
		山下 由佳	
		玉澤 卓也	
		岸 直樹	
		永田 貴裕	
	障害保健福祉課	精神保健グループ	河合 龍紀
		生活・就労支援グループ	柴田 多美子
	山内 愛美		

4 議事内容

- (1) 他協議会活動状況報告
- (2) 専門部会報告
 - ・虐待対応ワーキング
 - ・委託相談評価ワーキング
 - ・こどもワーキング
- (3) エリア連絡会活動状況報告
- (4) その他

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活・就労支援グループ 山内

6 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

7 会議記録

(1) 他協議会活動状況報告

資料を元に担当者より説明

精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム推進連絡会

- ・元々措置入院をしていた人の退院支援の取組みは行っていたが、措置入院以外の退院後支援の充実に向けた連携について検討している。子どもを養育している人の退院支援にもスポットをあてていければと考えている。
- ・地域移行にあたり、連携のルール化を図り、日常的に関係機関が連携できるようにしていきたい。11月頃に精神科医療と福祉の意見交換会を実施する予定。

<意見>

- ・精神科訪問看護の質のバラつきがあるが、どこに相談していったらいいのか。

⇒ (担当) 質の課題についてはこちらでも把握しており、医師会からも要望があがっているため、連絡会の企画会議で共有をする。

- ・連絡会に地域課題をあげていく場合はどうすれば良いか。

⇒ (担当、事務局) 連絡会では個別案件を取り扱う場がないため、本協議会から課題をあげるルートを検討していく。

医療的ケア児等支援協議会

- ・医療的ケア児等コーディネーターの4～6月の活動実績、全数把握調査、3月に開催した医療的ケア児を持つ保護者への意見を伺う会について報告

<意見>

- ・医療的ケア者で計画相談だけでなく、委託相談、基幹相談にも関わってもらっているものの、利用できるサービスがなく困っているケースがあるが、コーディネーターが配置されることで、サービス不足などについても検討を進めてもらえるようになるのか。

⇒ (コーディネーター) ケース対応等、相談に乗ることは可能。

- ・ ALS の在宅支援が増えている。ALS 患者はどれくらい把握できているのか。

⇒ (コーディネーター) 名簿を確認し、また報告する。

(2) 専門部会報告

○虐待対応ワーキング

資料を元に担当より説明

- ・ 8月26日に研修会を開催し手引きについて説明を行うため、事前に目を通しておいてほしい。手引きは視点を大切にし、使いやすさや考えやすさを重視して作成している。現場で使ってもらいながらアップデートをしていきたい。
- ・ 今後は委託相談と区社会福祉課が連携して虐待対応することになるため、各エリアにおいて事前にすり合わせをしてもらえると良い。

○委託相談評価ワーキング

資料を元に担当より説明

- ・ モデル評価において、○×の判断がしづらいとの意見があり、センター毎に評価基準が違っていることが確認できたため、評価の着眼点を分かりやすく記載した。○×の判断に時間をかけるよりもセンターの取組みの振り返りに時間をかけてほしい。
- ・ 「センター運営に関すること」については、各相談員からの評価とし、数値化から除外してフィードバックは総評で行う。
- ・ 第三者評価は今年度中にモデル評価の実施を検討中。第三者評価が適当でない項目もあるため、加減点方式で評価を行う。

<意見>

- ・ 第三者評価は、どの機関に依頼することになるのか。

⇒ (事務局) 社会福祉課 (障害福祉、家庭児童相談室、生活保護)、健康づくり課、地区社協、民生委員、当事者、計画相談、包括支援センター、家族会、全体会構成員等、日頃関わりのある機関。

○こどもワーキング

- ・ 各エリアでの事例検討会が終了し、8月10日のワーキングで各エリアから出た意見等を共有し、ツールのアップデートを行っていく。アップデートしたツールを使って9月に研修会を開催予定。

<意見>

- ・ ツールは繰り返し使って慣れていくことが大切ではないか。
- ・ 今回事例検討に参加して、事例検討の場がたくさんあると良いと感じた。

(3) エリア連絡会活動状況報告

□ 浜北・天竜エリア連絡会

- ・ 地域体制強化共同支援加算の会議は2件開催

- ① 地域課題：肢体不自由児 (医ケア児含む) の卒業後の進路として生活介護事業所の不足

⇒部会を設置。構成員は主に生活介護事業所と特別支援学校。卒業生を見込みながら、今後の受け入れ体制について協議を行っている。

② 地域課題：水窪における共生型ショートステイへの対応

⇒特別養護老人ホームの指定申請に向けての説明や先行して特別養護老人ホームのショートステイで障がい者を受け入れている施設等との意見交換会を実施。他地区の事業所へも状況を共有。

□北エリア連絡会

・昨年度から取り組んできた移動に関する課題について、今年度はワーキンググループを設置し、ヒアリングの実施を予定している。

□西・南エリア連絡会

・事務局会議にて事例の共有を行っており、相談支援部会も立ち上げたが、課題としての取組みには至っていない。

□東エリア連絡会

・一般就労者の週末の余暇支援についての課題があり、居場所を作るための話し合いを進めていた。相談支援事業所ひがしにおいてボランティアでサロン活動をしていたがセンター化したタイミングで終了した。当時の参加者から、サロンのような活動を希望する意見があがった。当時の参加者に対してアンケートを実施して、ニーズがあれば、地域活動センターのようなものができれば良いのではと考えている。

□中エリア連絡会

・今年度は計画相談支援事業所を巡回し、地域課題をあげてもらえるように取り組みを進めている。

<意見>

・計画相談支援事業所より課題提案をしてもらうためには、道筋を立てるなど、仕掛けが必要になってくる。

・地域体制強化共同支援加算については、どのタイミングで企画会議に報告すれば良いか。
⇒エリア全体会まで報告が終わり、エリアとしての取り組みや体制を示すことができる段階であれば企画会議で報告してもらえば良い。

(4)その他

(事務局より)

- ・ 8月30日開催予定の第1回市全体会の傍聴について構成員への周知をお願いしたい。
- ・ 11月19日(金)に協議会全体研修を開催予定。

次回企画会議：9月30日(木) 10時～ 32会議室